

南 昌宏●

近年、プロビジョナルレストレーションというものは、単なる暫間補綴物（テンポラリークラウン）とは意味合いが違うということが、臨床家の中で徐々に認識されてきたように思う。しかし一方で、深く議論を進めていくと両者の差を明瞭に区別されている歯科医師は、まだまだ少ないようにも思える。桑田正博先生と西川義昌先生によって上梓された本書は、プロビジョナルレストレーションが治療用補綴装置であるということが全面に打ち出され、歯冠外形態の考え方や評価基準、そして臨床応用例等が非常に理解しやすく示されており、正しく時を得た書物といえる。

同じ著者らによる既刊著書『歯科技工別冊 / Biological Crown Contour』でも歯冠形態について詳しく解説されていた。その中では、歯牙解剖学で一般的に認識されている天然歯の歯冠形態を基に、補綴学的に再現されるべきクラウン外形が考察され、さらにその臨床応用が呈示されていた。いわば『Biological Crown Contour 概論』であったといえ、それにまつわる議論の展開がなされているのが本書の第一の特徴である。例えば、本の構成として前書と同様に歯冠形態観察の項が設けられているが、特に補綴学的側面からの形態考察に焦点が絞られている。すなわちクラウン外形を規定する基準点や基準面を中心に詳しく図解されている。また桑田先生が提唱されたクラウン外形に関する重要な概念についても明確に定義されている。さらに特筆すべきものとして、ティッシュリテンションに関する概念について簡明な解説がなされていることが挙げられる。

本書における第二の特徴はプロビジョナルレストレーションの形態付与、修正についてのテクニックについて余すところなく解説されていることである。歯肉縁下部のリカントゥアリングに関する詳細な図説、使用する研削材の選択、回転速度と方向、ポイントの当て方等、本書とDVDとの立体構成により、様々な角度からどのように外形態を作製していくべきなのかが非常に理解しやすい。さらに作業



歯界展望別冊 Single Crown Provisional Restorations DVDビデオ付  
—天然歯形態の観察から始まる修復治療—  
西川義昌・桑田正博 編著  
A4判変型 152頁 定価 5,775円（本体5,500円+税5%）  
医歯薬出版株式会社刊

姿勢と指の使い方について細かく言及されていることは、プロビジョナルレストレーションのみならず、精密治療に携わる者としては常に心がけておきたい要件であり、まさに必読の書といえる。

本書の読み方としてはまずDVDを観た後、本文を読み込んでいただくと理解が早まるのではないかと思う。映像内で桑田先生が繰り返し解説されている基準点に関する内容を、本書と照らし合わせるとその重要性がよく理解できる。最後に題名の『Single Crown Provisional Restorations』について、なぜSingleなのにRestorationsと複数形になっているか考えてみた。本文中の「1本が正しく修復できるレベルでは全顎は修復できない。全顎が修復できるレベルでしか1本は正しく修復できない」は、長年にわたり多くの一口腔単位の治療に携わってきた桑田、西川両先生の修復に対する基本姿勢を表しており、感銘を受ける言葉である。これから推測するに、プロビジョナルレストレーションの1歯1歯を確実に形態付与できるようになることの重要性を表現したいために、あえて複数形を題につけられたのだろうとの解釈は筆者の深読みであろうか。

（みなみまさひろ 〒530-0047 大阪市北区西天満2-6-8 堂島ビルヂング1階 医療法人皓隆会 南歯科医院 Tel：06-6315-0111）